

## 追加ライセンス情報

METEORA SYSTEM の製品は特許ベース素材です。素材は二つ有る。その内の一つが量子耐性ブロックチェーンです。この二次製品は何であるか、それはどんな姿であるか、を議論するために表 1 を作った。そこに黄色で着色したセルが有る。ここは、「目に見える金○」が「目に見えない金×」を裏側に隠して来た、という主張をしています：この「目に見えない金×」は digital gold と名付けられた。

基準	目に見える	ユーザ ID を持たない	手渡し支払いが可能	人の自由を制限しない	タンス預金が可能	
不換紙幣	○	○	○	○	○	Currency
金、ゴールド金貨	○	○	○ 二重支払い無し	○	○	
多変数デジタル通貨	× digital gold	○	○ 二重支払い無し	○ 注 3	○	
Bitcoin パスワード使用	×	○	○ 二重支払い無し	○	○	Mere IT
デジタル人民元 パスワード使用	×	×	○	× 注 2	×	
CBDC パスワード使用	×	×	○	×	× 注 1	

表 1：非可換アルゴリズムは digital gold 「預金口座」の閉鎖を一時的に行える。☞

[Quantum\\_resistant\\_Blockchain\\_article\\_JA.pdf \(meteora.co.jp\)](#)

多くのマンパワーが投入されてゴールドは目に見える存在になる。他方、当該 digital gold は、三者の同意を検証しさえすれば、瞬時にネットに誕生する。☞[多変数デジタル通貨 | Meteora System](#)。  
このような digital gold は、一体、どんな仕事をするのでしょうか？

当該 digital gold がどんな役割を引き受けるものか、我々も未だその答えを見ていない。ただ、これに仕事を与えてくれそうな金融分野は三つあると考えられる。

三つの分野とは、国際金本位制、国内金本位制、民間部門が実施する金融イニシャティブです。各々のセクターの中で、当該 digital gold がどんな役割を演じるかについて未だ判らない。例えば、ゴールドに取って代わる話にはなるか否か判らない。

少なくとも次のようなことは言える：金本位制だけでは上手く行かなかった歴史が有るから、当該

digital gold はこの辺りの問題を解決するはずだ。つまり、ゴールドの供給量は経済の拡大に追いつかなかつたし、それだけでなく、持てる国に対比される持たざる国は始めから不利であった。当該 digital gold はこの辺りの問題に光を当ててでしょう、なぜなら digital gold は本質的に貨幣の需要に応える際に物理的な制約が無いから。

利害関係人は多数いらっしゃると思われる：一律なライセンススキームでは利害関係人の役に立たない。当該 digital gold は「格付け＝5」ですから、これは、監視社会のデジタル通貨ではなく、自由と民主主義を育てるデジタル通貨である。「格付け＝5」 [☞ Digital\\_currency\\_raiting.pdf \(meteora.co.jp\)](https://www.meteora.co.jp/Digital_currency_raiting.pdf)

自由と民主主義を育てる digital gold:ここに共感を覚える方々は大勢いらっしゃると思うので、ライセンススキームも多様に用意する。気楽にご相談ください、と思います。なお、ライセンスの責任と義務については公平にマネージします。どのライセンススキームにも発明者の開示業務を伴います。

上記ライセンススキームについて、何か意見やビジョンをお寄せ頂ければ感謝します。あるいはこのイニシアティブは利害関係人としてのデレクター又はコーディネータも歓迎します。

2021年1月1日

©渡邊栄治、METEORA SYSTEM

注1：紙幣は匿名性を保証するから日本人は現金を信頼している。匿名性が有るからタンス預金も可能です。これはキャッシュレス決済の普及が進まない一因であるという。現在進行中のCBDCは、金利を付ければ、タンス預金を回収する手段にもなり得る。匿名性を保証するCBDCなら、永く広く愛されるでしょう。そういうCBDCを中央銀行に期待したい。

注2：一般に、発行者の論理に立った設計になりがちですが、多変数デジタル通貨は消費者保護の立場に立ってプライバシーと金融資産を守り、同時に、資金洗浄をブロックするプロトコルを持っています。前者の設計は「単なるIT」ですが、後者の設計は「Money」です。「単なるIT」は日常のお買い物には使えるが、航空券の購入には使えない、そういう運用も可能です。

注3：多変数デジタル通貨、金、紙幣は人の自由を制限しない。これが「お金」の性質です。又これら価値は国家の威信とバランスするが、発表されているCBDCが、実際、社会実装されるなら、国家の威信を傷つけるような事件を起こすでしょう。